

竹山地区

竹山地区別計画推進策定委員会

地域 竹山1～4丁目

緑区の南側に位置し、地区の南側は保土ヶ谷区に隣接しています。

昭和40年代に開発された竹山団地が中心にある丘陵地の住宅街です。この地区は、竹山中公園、竹山二丁目公園、竹山南公園等をはじめ、緑豊かな街並みが続きます。

緑区の中では最も高齢化が進んでおり、年少人口比率も最も低い地区となっています。

<主な関連施設>

最寄駅：鴨居駅（JR横浜線）

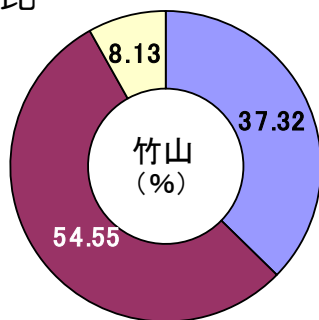
震災時避難場所（地域防災拠点）：竹山小学校

地域ケアプラザ等：横浜市鴨居地域ケアプラザ

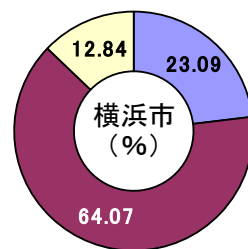
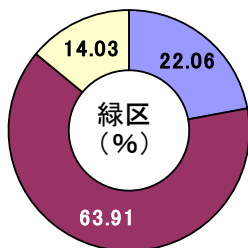
<年齢区分別人口>

平成27年(2015年)9月末

人口比



■高齢化率(65歳以上) ■生産年齢人口比率(15~64歳) □年少人口比率(0~14歳)



75歳～	1,140人
65～74歳	1,545人
15～64歳	3,924人
6～14歳	370人
0～5歳	215人
合計	7,194人

75歳～	17,774人
65～74歳	21,834人
15～64歳	114,752人
6～14歳	15,597人
0～5歳	9,603人
合計	179,560人

75歳～	397,977人
65～74歳	462,998人
15～64歳	2,388,957人
6～14歳	291,502人
0～5歳	187,470人
合計	3,728,904人

地区別計画推進策定委員会の開催

第1回

平成27年6月4日

18:30～19:50

竹山ホール

- ・平成26年度の振り返り
- ・第3期計画素案の検討
- ・今年度の取組について

通信No.9発行

第2回

平成27年12月4日

18:30～20:00

竹山ホール

- ・第2期計画5か年振り返り
- ・第3期計画の確定

通信No.10発行

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」平成27年度地区別計画推進状況



竹山地区



つながり 支えあう 住み良い街をめざして

竹山地区では、3つの目標を掲げ、取組を進めています。

平成27年度の主な取組み

①ボランティア参加等の仕組みづくり

地区ボランティアセンターでは、話し相手や包丁研ぎなど、さまざまな相談を受けています。また、丁目ごとに身近な近所で支えあえる仕組みづくりを検討しました。

(写真：地区ボランティアセンターのメンバー)



②知りたい情報を知らせる工夫

竹山地区は3人に1人が65歳以上の高齢者ということもあり、災害時の情報伝達の仕方やささえ愛カードの活用について検討しています。

また、高齢者の方に防災グッズを配布しました。

民生委員児童委員
が配布しました！

(写真：「防災グッズ」)



(写真：「竹山福祉まつり」の様子)

③世代間・活動団体間の交流

子どもたちと一緒に、竹山池での釣り大会や夏祭りなど、竹山の魅力をいかしたイベントを開催しました。

多世代交流できる「ふれあいさろん竹多久ちくたく」では、より多くの方々に交流してもらえるよう取り組んでいます。



竹山地区別計画推進策定委員会は下記の各団体等の代表者などで構成しています。 ※順不同

● 連合自治会 ● 各自治会 ● 地区社会福祉協議会 ● 民生委員・児童委員 ● 保健活動推進員

竹山地区別計画推進策定委員会



回 覧

竹山地区別計画推進策定委員会
平成27年7月発行 No. 9

竹山地区別計画推進策定委員会通信

第2期緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 第3期計画に向けた話し合いを行いました！

平成27年度第1回推進策定委員会を6月4日に竹山ホールで開催しました。

委員会では、引き続き竹山地区での取組を進めていくとともに、来年度から開始の第3期みどりのわ・ささえ愛プラン策定に向けて、取り組むことなどの話し合いを行いました。

＜メンバー＞連合自治会、単位自治会、地区社会福祉協議会、民生委員・児童委員、保健活動推進員等28名



■みどりのわ・ささえ愛プラン竹山地区別計画

竹山地区の住民が、身近な地域の福祉保健に関するまちの特性や課題などについて、話し合い、平成23年3月に地域の目標として策定した計画です。

誰もが身近な地域で安心して暮らし続けていくために区民、地域ケアプラザ、社会福祉協議会、区役所などが協働で取り組む「地域福祉保健計画」の中に位置付けられています。

- | | | |
|-----|----------------------|--------|
| 目標1 | ボランティア参加等の仕組みを整えます | 《つながり》 |
| 目標2 | 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます | 《情報》 |
| 目標3 | 世代間・活動団体間の交流を進めます | 《つながり》 |



委員会での意見や第3期計画案をご紹介します！

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます

《委員会での意見など》

- 7年目となる竹山地区ボランティアセンターの昨年の実績は39件で、掃除・相談・車椅子貸出・話し相手などを行い、包丁研ぎは119本も申込みがあり、好評でした。
- 有償化については、他地区の情報を収集して検討します。
- ボランティアする人の高齢化が課題です。
- エリア別(丁目別)のボランティアグループを作り、自治会の協力を得ながら、昔ながらの助け合いができるようにしたいです。



▲竹山地区ボランティアセンターのメンバー

★第3期計画案★ 目標1:ボランティアの取組を充実します

- 各種広報でボランティア利用者の経験談や、お手伝いできるメニューを紹介するなど新たな活動・利用を呼びかけ、ボランティアセンターのPRをしていきます。
- ボランティア参加者を増やすため、活動内容・場所・時間などの情報を具体的にして募集します。
- 隣近所の助け合いに向けた仕組づくりをすすめます。

第2期からステップアップ！

目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます

＜委員会での意見など＞

- ささえ愛カードの更新により、集まった2,100件のデータと、これまでのデータを集約して平常時のささえあいに活用したいです。
- 竹山地区は3人に1人が65歳以上の高齢者。減災対策と高齢者対策を併せ、どのような情報提供をしていくべきか検討していきます。
- ホームページの更新ができる人手が足りない状況ですが、更新方法などについて検討していきます。



吉川委員長と防災ブック

★第3期計画素案★ 目標2 知りたい情報を分かりやすく伝えていきます

- ホームページなどを活用し、我が町PR、竹山地区の良さや行事を伝えていきます。
- 紙媒体での情報発信の継続や、イラストや文字の大きさなど、見やすさを工夫します。
- 防災ささえ愛カードなどの取組を通じて、データベースを更新し、必要な時にいつでも情報が取り出せるようにします。また、災害時の連絡体制を確立します。

第2期からステップアップ!

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます

＜委員会での意見など＞

- 竹山池の取組や商店街の活性化活動で、学校と連携し、竹山小学校の4年生を対象とした生物体験学習を竹山池で行いました。スジエビや魚が多く獲れ、参加した生徒たちも大喜びでした。
- 盆踊り、運動会、文化祭などで世代間交流の場をつくっています。
- 子ども会や保育園と連携し、花火大会や餅つき大会などで、丁目を越え、子どもたちに来てもらいたいです。行事を連合単位で行うとより盛大になり、若い人たちも暮らしてみたくなるのではないのでしょうか。
- ふれあいさろん「竹多久」は、今年度からは毎日開所しており、「お茶の日」や「元気づくりのひろば」など、多くの人に利用してもらえるように工夫しています。



▲元気づくりのひろば参加の皆さん

★第3期計画素案★ 目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます

- 美化活動などを利用した地域交流に加え、緑地や池など竹山の魅力をいかして、親から子どもや孫の世代まで来てもらえるようなイベントを開催します。
- 課外授業などを通じた学校との連携をより進めていきます。
- 気軽に集えるふれあいさろん「竹多久」を、多世代交流の場や、健康づくりの場として、より地域で活用していきます。

第2期計画を継続!

今後のスケジュール



平成27年9月～10月頃
12月3日

平成28年3月

素案公表・意見公募
第2回竹山地区別計画推進策定委員会
(第2期計画振り返り・第3期計画の確定)
第3期計画の公表

<連絡先> 竹山地区別計画推進策定委員会 事務局 緑区保険年金課内 TEL:930-2336



回 覧

竹山地区別計画推進策定委員会
平成28年1月発行 No.10

竹山地区別計画推進策定委員会通信

緑区地域福祉保健計画「みどりのわ・ささえ愛プラン」 第3期竹山地区計画がまとまりました！

平成27年度第2回推進策定委員会を12月4日に竹山ホールで開催しました。
 その中で、これまでの取組を振り返り、今年の4月から開始する
 第3期みどりのわ・ささえ愛プランの内容を確定しました。

<メンバー> 連合自治会、単自治会、地区社会福祉協議会、
 民生委員・児童委員、保健活動推進員等28名



■みどりのわ・ささえ愛プラン竹山地区別計画

竹山地区の住民が、身近な地域の福祉保健に関するまちの特性や課題などについて、話し合い、平成23年3月に地域の目標として策定した計画です。

- ◆目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます 《つながり》
- ◆目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます 《情報》
- ◆目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます 《つながり》



第3期竹山地区別計画の概要

ボランティアの取組を充実します

- ・ボランティアセンターのPR
- ・隣近所の助け合いに向けた仕組みづくりの検討
- ・気軽にボランティアセンターを利用してもらえるような雰囲気づくり

知りたい情報を分かりやすく伝えていきます

- ・ホームページを活用して、我が町PR、竹山の良さや行事を伝える
- ・防災ささえ愛カードのデータベース化などを活用し、災害時や平常時の連絡体制に活用するための検討
- ・自治会役員の負担の見直し、自治会加入のメリットをPR

世代間・活動団体間の交流を進めます

- ・美化活動や緑地・池など竹山の魅力をいかした多世代向けイベントの開催
- ・課外授業などを通じた学校とのさらなる連携
- ・ふれあいサロン「竹多久」を多世代交流や健康づくりの場として活用

今年度の取組を振り返り、共有しました！

目標1 ボランティア参加等の仕組みを整えます

- 地区ボランティアセンターでは、今年度21件の相談がありました。相談内容は「話し相手が欲しい」が多かったです。
- 25年度から開始した包丁研ぎは165本と今回も好評でした。
- ボランティア連絡会を開催し、丁目ごとのボランティアグループ化について進めています。



目標2 知りたい情報を知らせる工夫に取り組みます

- 防災ささえ愛カードの取組を継続しています。
- 防災に関する情報（いっとき避難場所、地域防災拠点、広域避難場所など）について、役割がどう違うのか分からない人が多いので、正しく理解してもらえるようPRしていきます。
- 幅広くみなさんのニーズに応える形で情報を提供していきます。
など

引き続き、防災に関する情報発信も行います！



▲吉川委員長

目標3 世代間・活動団体間の交流を進めます

- 竹山池の釣りの大会や、小学校4年生が池に入って竹山池の生態系を学ぶようなことを行いました。
- 運動会なども地域全体で、こども・大人・シニア含めてやっており、今後も交流を深める努力はしていきたいです。
- イベントの運営委員の中に小さな子どもがいて、手伝ってもらいましたが、イベントに参加するだけよりも、手伝ってもらうことで交流が広がり、良かったです。
- 行事で集まった際に、名前を覚えている人には声をかけるようにしています。
- 地域の皆で、居場所や交流を持てるサロンとして「竹多久」を立ち上げたので、ぜひ多くの人に来てもらい、皆で応援して盛り上げていきたいです。
など



▲竹山福祉まつりの様子



今後のスケジュール

平成28年3月2日

第34回社会福祉大会

竹山地区が事例発表します！！

第3期計画の公表



6月頃

竹山地区別計画推進策定委員会

<連絡先> 竹山地区別計画推進策定委員会 事務局 緑区保険年金課内 TEL: 930-2336